受付番号　　－

2025年5月23日

2024 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告

団体名　NPO 法人フードバンク八王子えがお

1. 助成プロジェクトの名称

生活困窮世帯への企業などからの食品受け取り＆食品支援事業

2. 団体の概要（創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで）

八王子母親大会で 2 年続けて”子供の貧困”問題をとりあげたことをきっかけに 2016 年 3 月に任意団体”フードバンク八王子えがお”の活動を始めました。当初は食品集めに苦労しましたが、多くの方のご協力で本格的な活動をはじめました。2017 年 3 月 NPO 法人の資格を得て、現住所での活動拠点もでき、会員数も何とか 200 を維持しています。通常支援に加え、市内 6 か所の緊急支援パントリーでも支援活動を展開しています。

3. プロジェクトの目的とその背景（※応募申請書に記載のものでも可）　250文字程度まで

失職、非正規雇用低賃金、貯え無し、病気、家賃滞納等々、困り果てたときにネット検索や、ぎょうせいからの紹介、口コミなどで”えがお”にたどり着けた方々に、”困ったときはお互い様”の精神でほんのひとときでもホッとしていただきたい、明日への活力の一助となりたい、そんな思いで活動しています。

4. プロジェクトの内容（※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可）　300文字程度まで

当初予定とほぼ同じ内容です。ただし、庶民の生活を直撃する物価高が続く中で、フードボックスからの食品回収量がかなり減り、手持ち資金から毎月購入して、質と量の確保につとめています。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』　300文字程度まで

支援要請者には原則 6 回、毎月第 3 日曜日に支援物資が届きます。近くの方には事務所で受け取っていただき、なるべく配送費・宅配便代を減らすことに努めています。食品回収に当たる人、お届けする人みなさんのご尽力で、滞りなく活動をすすめることが可能となっております。
会員や活動に関心のある人との交流会も開き、会員になって配送に参加するなどの変化もうまれています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など　300文字まで

一見豊かで、食に困窮する世帯などまわりにいないのではと思われます。しかし支援世帯の状況はかなり深刻です。最近外国籍の方や、働き盛りの若者からの要請も目立ちます。相次ぐ生活必需品の値上げ、中でも主食の米の 2 倍強もの値上げは深刻です。そんな中、毎月の支援品で最も喜ばれるのが 5 kgの米です。
米はもちろんの事、毎日の食を支える、可能な限り良質な食品を、必要とする方々がおられる限り届けたいです。
それにはより多くの方々にフードバンクの存在を知っていただくことが大切です。
そして、高齢化が進む私たちボランティアの活動に若い世代を迎えることが、事業継続の鍵です。
フードバンクが必要とされなくなるまで続けたいとねがっています。

7. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

受付番号　ー........